



# レジオネラ症にご注意！ お風呂・加湿器は清潔に

令和6年5月22日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第20週分・5月13日～5月19日)

### 《インフォメーション》

#### ●レジオネラ症

レジオネラ症は河川、湖水、温泉や土壌などに広く生息しているレジオネラ属菌を原因とする感染症です。レジオネラ属菌は20～45℃の水中で増殖しやすく、衛生管理の不十分な公衆浴場、循環式浴槽、加湿器、大型空調室外機の冷却塔などの水環境で増殖します。それらにより発生したエアロゾルを吸入することで感染しますが、ヒトからヒトへと感染することはありません。

これまでに公衆浴場などを原因とする集団感染事例が数多く報告されており、最近の報告例では、昨年7月に宮城県で空調設備を原因とする集団感染が発生し、死亡者が出る事態となりました。

傾向として、近年は全国で年間2,000～2,300例程度のレジオネラ症が報告されており、50歳以上の男性の報告が多数を占めています。年間を通して発生報告がされていますが、特に夏季に増加する傾向があります。過去5年間の県内の報告数は年間36～54例で推移しており、全国と同様に、県内でも50歳以上の男性の報告が70%から80%を占めています。今年5月19日の時点で19例の報告がされています(図参照)。

レジオネラ症の主な病型は肺炎です。2～10日の潜伏期の後に、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などを発症し、咳や38℃以上の高熱、悪寒、呼吸困難が見られるようになります。また、下痢や意識障害を起こすこともあります。治療には抗菌薬の投与を行います。このため医療機関においては、尿中抗原検出キットを用いた迅速検査を行い、適切な抗菌薬(キノロン系薬、マクロライド系薬)による治療を早期に開始することが求められます。また家庭では追い焚き機能付き風呂、24時間風呂、加湿器などに付着した「ぬめり」にレジオネラ属菌が生息しやすいため、取扱説明書に従って定期的に洗浄などを行い、適切な衛生管理をおこなうことが感染対策として重要です。

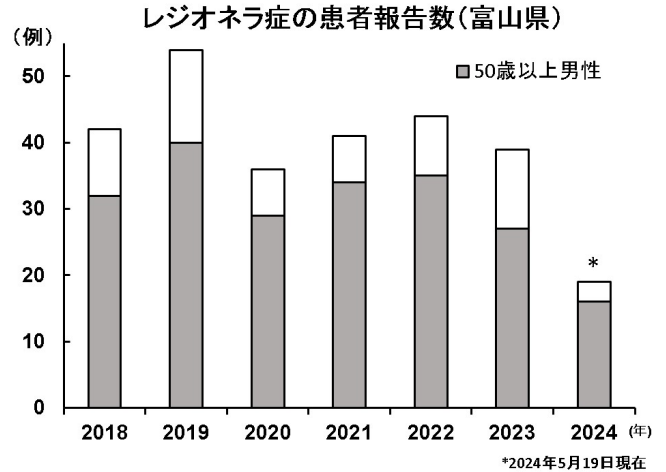
### 《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 1件(60歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(10歳未満、男性、O126、VT1)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	8.83(↑)	7.07
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.83(↑)	3.75
3位	COVID-19	3.19(↑)	2.87
4位	R S ウイルス感染症	2.07(↑)	1.32
5位	咽頭結膜熱	1.72(↑)	1.68
6位	突発性発しん	0.45(↑)	0.25



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第20週 令和6年5月13日～令和6年5月19日）

分類	疾患	今週報告分（第20週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1			1	6	2	16	3	20	47	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	3	2	8	2	12	27	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1				1	1	3	5	
	四類感染症	E型肝炎											1	1	
		レジオネラ症								1	7	1	10	19	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									2		6	8	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	6	10	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	2	4	
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
水痘（入院例）								1	1				2		
梅毒										2	2	4	8		
播種性クリプトコックス症											1	1			
百日咳											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ			16	1	1	18	1,066	1,027	4,015	1,561	5,057	12,726	
		COVID-19	27	18	42	40	26	153	1,118	693	2,104	1,133	1,887	6,935	
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	7	29	4	19	60	13	38	81	20	123	275	
		咽頭結膜熱	2	18	15	1	14	50	61	184	527	28	515	1,315	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	8	97	8	44	169	134	139	1,970	223	824	3,290	
		感染性胃腸炎	26	16	47	17	150	256	491	505	1,106	607	2,478	5,187	
		水痘					4	4	1	10	44	8	38	101	
		手足口病		5			1	6	7	11	23	1	15	57	
		伝染性紅斑									6	1		7	
		突発性発しん			6		7	13	4	9	51	13	39	116	
		ヘルパンギーナ	2					2	48			1	1	50	
		流行性耳下腺炎			1		1	2			3	2	2	7	
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
			流行性角結膜炎			2			2	8	1	21	5	9	44
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
			マイコプラズマ肺炎				1		1			1	1		2
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）				1.00		0.20			1			1
		入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	1			1		2	21	10	31	48	69	179
			COVID-19による入院患者	6	1	1	6	10	24	84	93	60	108	272	617

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

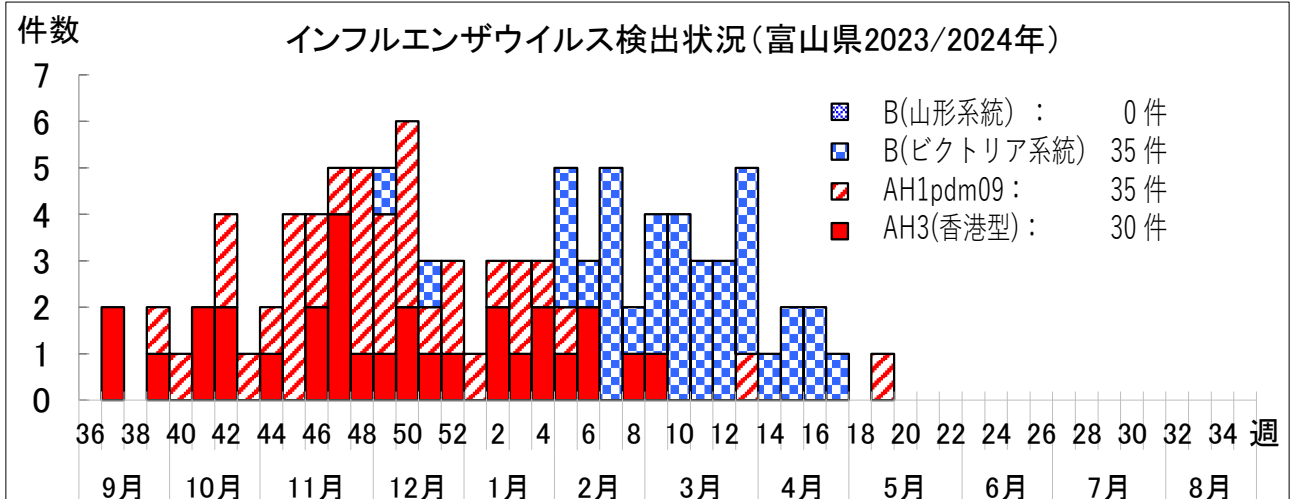
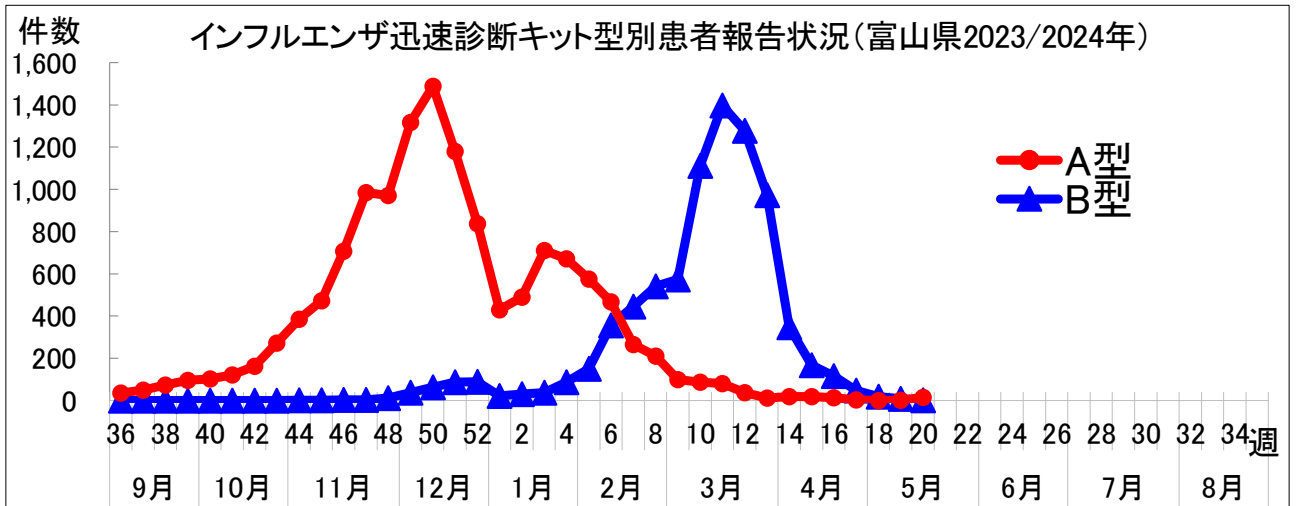
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が88.9%となっています。

**第20週(5/13～5/19)：富山県 0.38人/定点** (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	6 / 13	15	0	1	16
砺波	1 / 7	0	1	0	1
富山市	1 / 16	1	0	0	1
富山県	8 / 48 <sup>※1</sup>	16	1	1	18
富山県累計(2023年36週～)		13,467	8,012	1,356	22,835

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が8か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





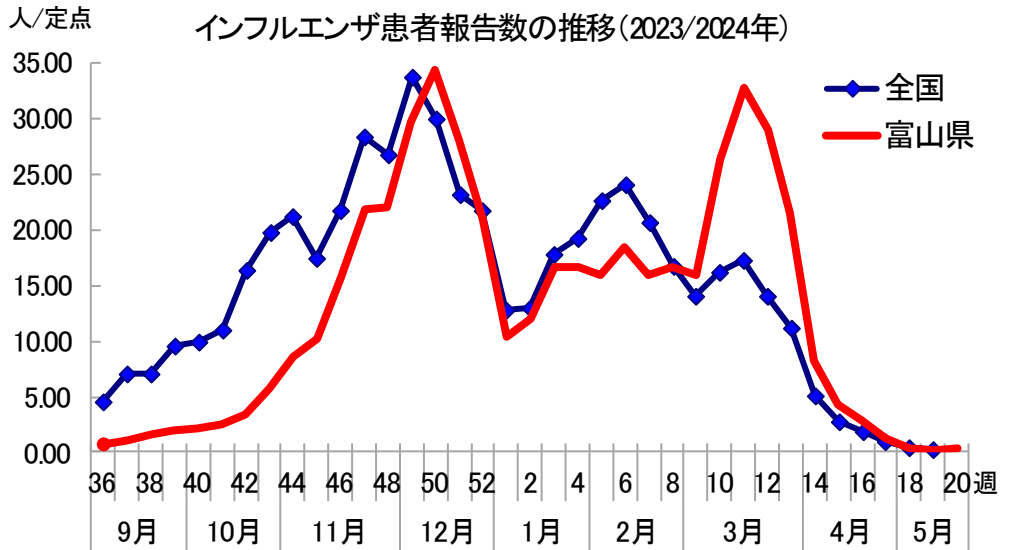
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第20週 (5/13~5/19) : 富山県 0.38 人/定点

新川 HC (0.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (1.23)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.06)

全国の患者報告数は、第19週に0.34人/定点となり、前週から減少しました。

県内の患者報告数は、今週0.38人/定点となり、前週から微増しました。

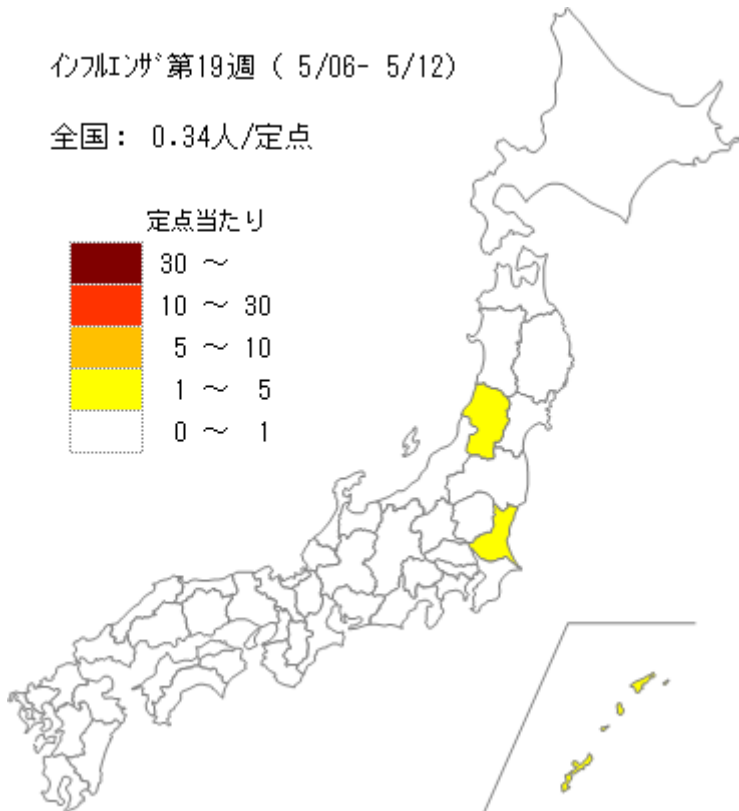


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第19週 (5/6~5/12)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり0.34人となり、前週の0.45人より減少しました。12府県で前週より増加しています。34都道府県で前週より減少しています。

インフル第19週 (5/06- 5/12)

全国: 0.34人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.35 ↓	滋賀県	0.17 ↓
青森県	0.05 ↓	京都府	0.54 ↓
岩手県	0.46 ↓	大阪府	0.36 ↑
宮城県	0.58 ↑	兵庫県	0.23 ↓
秋田県	0.52 ↓	奈良県	0.55 ↑
山形県	1.02 ↓	和歌山県	0.22 ↑
福島県	0.39 ↓	鳥取県	0.31 ↓
茨城県	1.07 ↑	島根県	0.39 ↓
栃木県	0.33 ↑	岡山県	0.26 ↑
群馬県	0.14 ↓	広島県	0.19 ↓
埼玉県	0.23 ↓	山口県	0.45 ↓
千葉県	0.23 ↓	徳島県	0.35 ↑
東京都	0.20 ↓	香川県	0.30 ↓
神奈川県	0.18 ↓	愛媛県	0.30 ↓
新潟県	0.36 ↓	高知県	0.48 ↑
富山県	0.19 ↓	福岡県	0.14 ↓
石川県	0.08 ↓	佐賀県	0.18 ↑
福井県	0.38 ↓	長崎県	0.30 ↓
山梨県	0.44 ↓	熊本県	0.27 ↓
長野県	0.75 ↑	大分県	0.38 ↓
岐阜県	0.21 →	宮崎県	0.19 ↓
静岡県	0.31 ↓	鹿児島県	0.65 ↓
愛知県	0.24 ↓	沖縄県	2.66 ↑
三重県	0.17 ↓	全国	0.34 ↓

今週をもちまして、今シーズンのインフルエンザ情報の報告を終了いたします。